

# 館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

## 「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—のご案内

今回は平井睦美さんの作品を紹介します。平井さんは吹きガラスで成形した器にサンドブラストで模様を施した作品を作っています。サンドブラストというのはガラスの加工面をマスキングし、そこに図案を描き、カッターで切り抜いてそこに高圧の砂を吹き付けて模様を彫り込む技法です。当館のガラス体験メニューにも入っています。

今回の展覧会には全体が透明のソーダガラスでできたもの、妖精の森ガラスを使ったもの、全体を黒い色ガラスで覆い模様を削り出したものの3種類が出品されています。

透明ガラスが素地の場合、線や円文よりは、ある広がりを持った面を模様にしていて、透明の地に対して模様の部分が浮き出るようになっています。妖精の森ガラスには全面に小さな丸文を深く彫り込んであります。深く彫ることで模様の周りの凹凸がはっきりと出て、光を受けた時に独特のきらめきを放つこととなります。全体を黒い色ガラスで覆った脚付きのコンポートには大きな円文や杉綾模様、線文がざっくりと彫られ強い存在感を放っています。

サンドブラストの作品は通常、浅い彫りのものが多いのですが、平井さんは長い時間をかけて根気よく深い彫りを施しています。そのことでガラスが周囲の光と反応して微妙な陰影を生み出し、作品に豊かな表情を与えています。



平井 睦美  
「Compute II」



平井 睦美  
「しるし I」



平井 睦美  
「Compute II」

### 〈展覧会情報〉

平成28年度夏～秋期企画展 「静」と「動」—県内ガラス作家5人展—のご案内

会期：平成28年12月5日(月)まで

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

## 岡山県立博物館平成28年度特別展 にいみのしょう 新見荘～中世荘園の記憶～

とうじ 京都の東寺に伝わる、ひやくごう 国宝「東寺百合文書」がユネスコの世界記憶遺産に登録されたことを記念して、約550年前に東寺の荘園であった新見荘の様子を紹介します。

あわせて、岡山県内の同時代の著名な荘園についても紹介しています。

鏡野町からも、苫田ダム建設に伴う発掘調査で出土した、くたのしょう 久田荘関連の資料と思われる武具や陶磁器などの出土遺物40点を展覧しています。

場 所：岡山県立博物館(岡山市北区後樂園1-5)

期 間：10月21日(金)～11月20日(日)

休館日：月曜日

時 間：午前9時30分～午後5時

入館料：大人450円、高校生100円、小人80円、65歳以上220円

学芸員による展示解説：10月29日(土)、11月5日(土)、

11月13日(日)、11月19日(土) いずれも午後2時～3時

問合せ：岡山県立博物館(Tel.086-272-1149)

URL：<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>

